

子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修 はぐプロジェクト

参加費
無料

育休を取得する社員や多様な働き方への理解促進を目指すために、福島県内10市（福島市・二本松市・伊達市・須賀川市・田村市・白河市・会津若松市・喜多方市・南相馬市・相馬市）では、東京大学と連携して、子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修「はぐプロジェクト」を無償で提供いたします。

経営者や管理職の皆さまにとってもメリットの多い事業ですので、ぜひ参加をご検討ください。

<研修概要>

1. 子育て支援型マネジメント研修

- 子育て支援型マネジメントの意義や実践方法を学びます
- 所要時間：約2時間
- 実施方法：対面またはオンライン（オンデマンド）

2. 保育体験研修

- 経営者や管理職が保育施設で見学・交流を行います
- 所要時間：約半日



本パンフレットをご確認の上、上記QRコードにてお申し込みください

実践的研修と保育体験で、マネジメントが変わる。 育休取得が「当たり前」の、強い組織風土へ。

2022年4月より、「産後パパ育休（出生時育児休業）」を設ける改正育児・介護休業法が施行されていますが、男性育休取得率の令和6年度実績は、全国平均（40.5%）にとどまっています。

育休を取得しない理由として、およそ3人に1人が「職場が男性の育休取得を認めない雰囲気であること」を挙げています※1。育休取得の促進において、取得する社員と上司の相互理解を深めることが重要です。

また、育休取得が「当たり前」の職場環境には多くのメリットがあります。本事業への参加メリットは以下の通りです。

01 組織風土変革と従業員の意識変容

男性の育休取得推進に取り組んだ企業の約半数が職場の雰囲気が良くなり従業員満足度が高まったとの調査結果が報告されています※2。また、家事・育児に関わった管理職は仕事の効率化やマネジメント力向上にもつながると実感しています。従業員の声を集めるための匿名アンケートも用意しており、幅広い意見を制度改善に反映させることができます。

02 人材確保

就活生の約7割（男性も6割超）が育休実績を重視しています※3。育児支援に積極的な会社は「働きやすい会社」として評価され、応募者増につながります。また育休取得率公表企業で、新卒・中途採用応募者の増加も報告されています※4。

育児支援が整った職場では従業員の愛着心が高まり、退職を防ぐ効果があることが各種調査で報告されています。従業員20名規模の企業で離職者を1人防ぐと、採用・育成コストなどで数百万円の損失を抑えられるという試算があります。育休制度への投資は早期に回収できるとされており、人材確保の観点からも有効です。

03 取組広報・助成金や認定取得

地域の先進的取組として注目され、自治体の広報等で紹介される可能性があり、消費者や取引先へのアピールとなります。

制度整備にあたり、国の両立支援等助成金や自治体の支援策を利用できます。育児支援に積極的な企業として「くるみん認定」などの取得を目指せば、さらなる評価向上が期待できます。

※1) 内閣府「第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

※2) 厚生労働省「令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」報告書

※3) 厚生労働省「若年層における育児休業等取得に対する意識調査」

※4) 厚生労働省「令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」報告書

参加要件・スケジュール

<参加内容と協力のお願い>

- 参加期間中に、研修の受講機会があります。研修内容の検証や改善のため、実際の受講時期や内容は受講企業によって異なります。
- 費用負担はありません（無料で参加可能）。
- 3回程度のアンケート調査にご協力いただきます。すべてオンラインで実施し、個人や企業が特定されることはありません。
- 社内の従業員の皆さまにも1回程アンケートをお願いする予定です。従業員アンケートはもちろん任意ですが、多くの方にご協力いただくと大変ありがたいです。

<参加要件>

- 男性育休の取得率に課題を感じている従業員数10名以上の企業
- 社長をはじめとする管理職の方々
- 参加者本人および企業を対象とした計3回程度のアンケート調査にご協力いただける企業

<スケジュール>

令和8年3月～6月 各市において参加企業への声かけ（各市40社*）

7月～10月 座学+各市内保育園において保育体験を実施
（Aグループ20社）

令和9年7月～10月 座学+各市内保育園において保育体験を実施
（Bグループ20社）

※保育体験前後で複数回のアンケートを実施（A・Bグループ）

時間割	スケジュール	備考
9:30	集合	
9:30～10:00	保育の方法について説明	実習内容や注意事項の説明
10:00～11:00	クラスでの保育体験 (2歳クラス)	砂遊びやままごと、マット遊びなどの遊び活動、着替え補助、抱っこ・おんが、おもちゃの片付け等、こどもとの日常的な関わりを実際に体験する。
11:00～12:00	園児昼食	給食の準備・清掃補助
12:00～13:00	参加者昼食	参加者昼食(こどもと別室、自分で振り返り)
13:00～13:50	振り返り	振り返りシートを使用する (保育士との意見交換、病気時の呼び出し事例について、体験がどのように会社の施策に生かせるか)
13:50～14:00	体験後アンケート記入	封筒に入れて封をした上で提出。振り返りシートと合わせて保育所で保管。
14:10	解散	

<お申し込み方法>

下記URLまたはQRコードでお申し込みください。

<https://bit.ly/4sutk2V>

※お申込みの際は、貴社の参加者全員分をまとめてご登録ください。



保育体験の様子



会津若松市



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修 はぐプロジェクト

主催：福島県会津若松市

(南相馬市・福島市・二本松市・伊達市・須賀川市・田村市・
白河市・喜多方市・相馬市との連携)

協力：東京大学 同志社大学

お問い合わせ先：会津若松市健康福祉部こども家庭課

TEL 0242-39-1243 FAX 0242-39-1434

Mail kodomokatei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp